

Title	瀧口修造におけるシュルレアリスムの展開：戦前/戦後の「共同性」をめぐって
Sub Title	Le développement du surréalisme chez Shuzo Takiguchi : sur son «activité collective» avant et après la Seconde Guerre mondiale
Author	笠井, 裕之(Kasai, Hiroyuki)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2022
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2020. )
JaLC DOI	
Abstract	<p>日本のシュルレアリスムは戦時下の思想統制の激化とともに途絶したとの見方がある。しかし瀧口修造が戦前に参画したシュルレアリスム運動と、戦後のジャンルと国境を越える活動、とりわけマルセル・デュシャン、ジョアン・ミロ、アントニ・タピエスらとの共同制作とを一貫した視座で捉えることにより、瀧口独自のシュルレアリスムの展開を跡づけることが可能ではないか——。本研究はこの視点に立ち、国内外に所蔵されている各種資料を精査し、瀧口が戦前戦後を通じてシュルレアリスムをいかに受容し発信したかを「共同性」の観点から検証しようとする試みである。</p> <p>2020年度はコロナ禍ゆえ特に海外での資料調査をおこなうことができなかった。そこで、すでに収集済みの資料を用いて主に以下の作業をおこなった。</p> <p>(1) 瀧口とミロの共同制作に関する資料研究。慶應義塾大学アート・センターの「瀧口修造アーカイブ」、スペインのジョアン・ミロ財団等で収集した瀧口とミロの書簡を分析し、往復書簡集の刊行に向けて翻訳と解説の執筆を進めた。</p> <p>この往復書簡集は2021年度中に慶應義塾大学出版会から刊行の予定である。</p> <p>(2) 戦前と戦後を通じた瀧口の活動における「共同性」の検証。国立台湾美術館で企画された日本統治時代の台湾における前衛芸術運動を主題とする展覧会《共時的星叢——「風車詩社」與跨界域藝術時代特展》にあわせてシンポジウム「日殖時期現代文藝的共時與差異論壇」が開催された。その際におこなった講演を「寫給《日曜日式散步者》的三大主題（『日曜日の散歩者』に寄せる三つの主題）」として国立台湾美術館のwebサイトに掲載。また台湾で刊行された書籍『共時的星叢：風車詩社與新精神的跨界域流動』（台湾，原點）に「致《共時的星叢》特展——著眼於慶應義塾之藏品（《共時的星叢》展に寄せて：慶應義塾の所蔵品を中心に）」を寄稿した。いずれも日本語から中国語への翻訳が掲載された。</p> <p>1. Avoir examiné des documents sur la collaboration de Shuzo Takiguchi avec Joan Miró conservés aux archives Shuzo Takiguchi au Centre d'art de l'Université Keio, à la Fundació Joan Miró à Barcelone, à la Collection Shuzo Takiguchi au Musée préfectoral de Toyama et à la Bibliothèque Shuzo Takiguchi, l'Artthèque de l'Université des Beaux-Arts Tama.</p> <p>2. Avoir collaboré aux deux publications taïwanaises : « Trois sujets autour du film Le Moulin » (Recueil de documents et discussions du Forum sur Synchronicité et Dissemblance dans les Arts et la Culture modernes pendant la période coloniale japonaise, Musée national des beaux-arts de Taïwan, 2020) ; Constellation synchronique — La société poétique le Moulin et le flux transfrontalier de l'Esprit Nouveau (Taïwan, Uni-Books, 2020).</p>
Notes	
Genre	Research Paper
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2020000008-20200029">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2020000008-20200029</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

研究代表者	所属	法学部	職名	教授	補助額	300 (A) 千円
	氏名	笠井 裕之	氏名 (英語)	Kasai, Hiroyuki		
研究課題 (日本語)						
瀧口修造におけるシュルレアリスムの展開:戦前/戦後の「共同性」をめぐって						
研究課題 (英訳)						
Le développement du surréalisme chez Shuzo Takiguchi : sur son « activité collective » avant et après la Seconde Guerre mondiale						
1. 研究成果実績の概要						
<p>日本のシュルレアリスムは戦時下の思想統制の激化とともに途絶したとの見方がある。しかし瀧口修造が戦前に参画したシュルレアリスム運動と、戦後のジャンルと国境を越える活動、とりわけマルセル・デュシャン、ジョアン・ミロ、アントニ・タピエス らとの共同制作とを一貫した視点で捉えることにより、瀧口独自のシュルレアリスムの展開を跡づけることが可能ではないか ―。本研究はこの視点に立ち、国内外に所蔵されている各種資料を精査し、瀧口が戦前戦後を通じてシュルレアリスムをいかに受容し発信したかを「共同性」の観点から検証しようとする試みである。</p> <p>2020年度はコロナ禍ゆえ特に海外での資料調査をおこなうことができなかった。そこで、すでに収集済みの資料を用いて主に以下の作業をおこなった。</p> <p>(1) 瀧口とミロの共同制作に関する資料研究。慶應義塾大学アート・センターの「瀧口修造アーカイヴ」、スペインのジョアン・ミロ財団等で収集した瀧口とミロの書簡を分析し、往復書簡集の刊行に向けて翻訳と解説の執筆を進めた。この往復書簡集は2021年度中に慶應義塾大学出版会から刊行の予定である。</p> <p>(2) 戦前と戦後を通じた瀧口の活動における「共同性」の検証。国立台湾美術館で企画された日本統治時代の台湾における前衛芸術運動を主題とする展覧会《共時的星叢―「風車詩社」與跨界域藝術時代特展》にあわせてシンポジウム「日殖時期現代文藝的共時與差異論壇」が開催された。その際におこなった講演を「寫給《日曜日式散步者》的三大主題(『日曜日の散歩者』に寄せる三つの主題)」として国立台湾美術館のwebサイトに掲載。また台湾で刊行された書籍『共時的星叢:風車詩社與新精神的跨界域流動』(台湾, 原點)に「致《共時的星叢》特展―著眼於慶應義塾之藏品(《共時的星叢》展に寄せて:慶應義塾の所蔵品を中心に)」を寄稿した。いずれも日本語から中国語への翻訳が掲載された。</p>						
2. 研究成果実績の概要 (英訳)						
<p>1. Avoir examiné des documents sur la collaboration de Shuzo Takiguchi avec Joan Miró conservés aux archives Shuzo Takiguchi au Centre d'art de l'Université Keio, à la Fundació Joan Miró à Barcelone, à la Collection Shuzo Takiguchi au Musée préfectoral de Toyama et à la Bibliothèque Shuzo Takiguchi, l'Artthèque de l'Université des Beaux-Arts Tama.</p> <p>2. Avoir collaboré aux deux publications taïwanaises : « Trois sujets autour du film Le Moulin » (Recueil de documents et discussions du Forum sur Synchronicité et Dissemblance dans les Arts et la Culture modernes pendant la période coloniale japonaise, Musée national des beaux-arts de Taïwan, 2020) ; Constellation synchronique – La société poétique le Moulin et le flux transfrontalier de l'Esprit Nouveau (Taïwan, Uni-Books, 2020).</p>						
3. 本研究課題に関する発表						
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)			
笠井裕之	寫給《日曜日式散步者》的三大主題／「日曜日の散歩者」に寄せる三つの主題	日殖時期現代文藝的共時與差異論壇專輯(国立台湾美術館)	2020年7月			
笠井裕之	致《共時的星叢》特展―著眼於慶應義塾之藏品	共時的星叢:風車詩社與新精神的跨界域流動(台湾, 原點)	2020年12月			
笠井裕之	座談会:大学授業で詩をつくる―「インカレポエトリ」をめぐって	三田文學 144号	2021年2月			